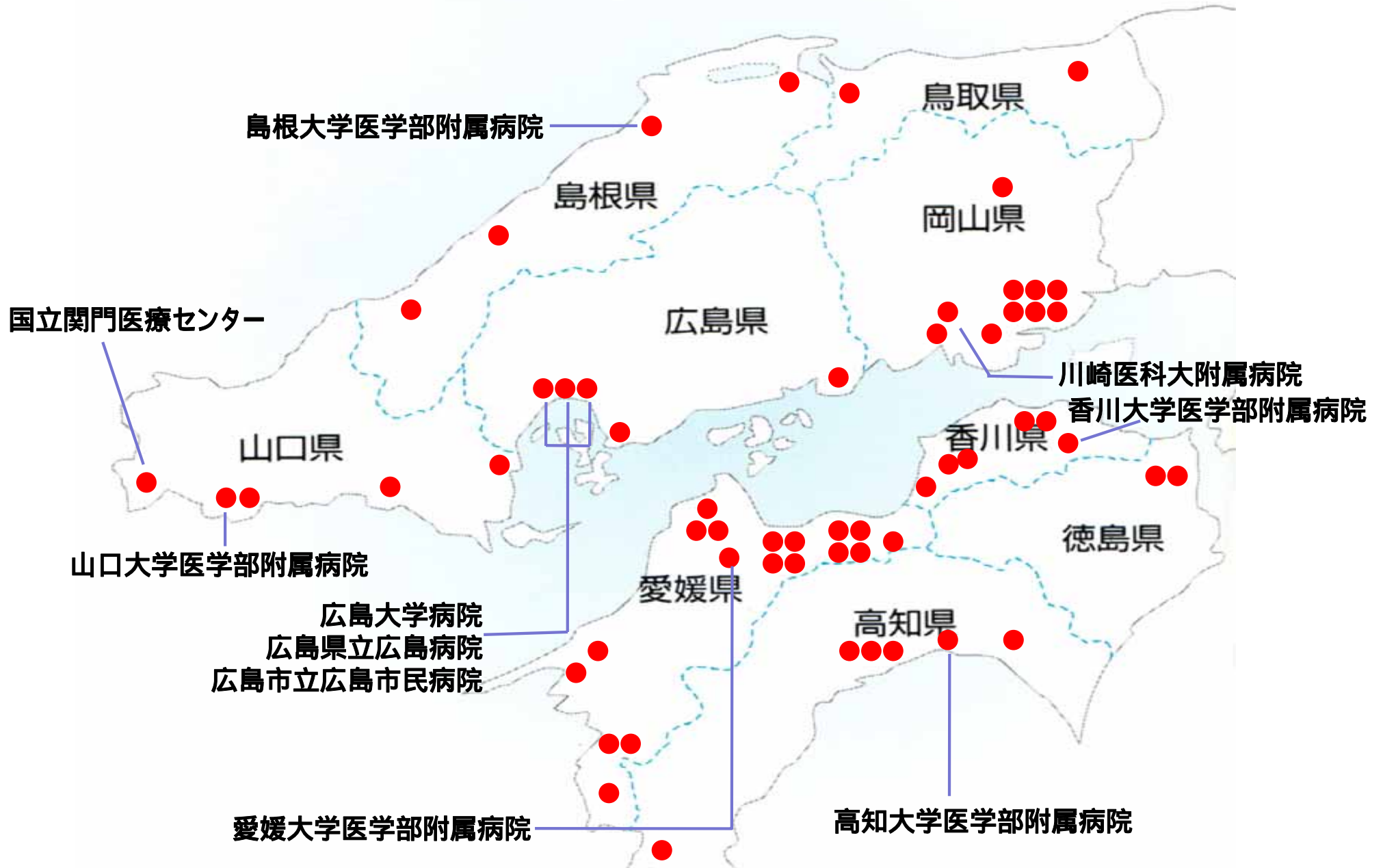


平成20年度
中国四国地方のHIV感染症の医療体制の
整備に関する研究
第1回中国四国ブロック
エイズ治療拠点病院等連絡協議会



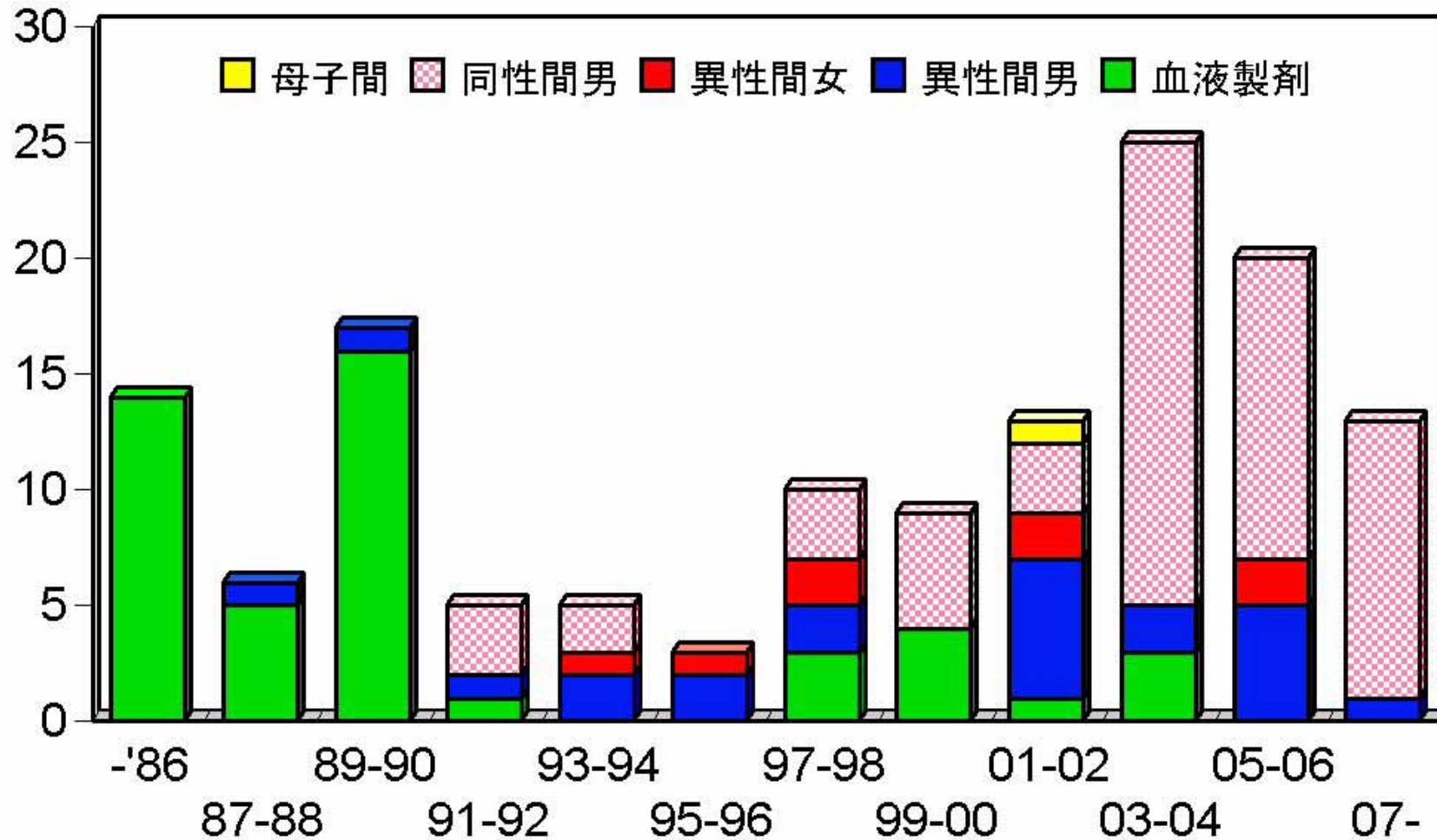
広島大学病院血液内科
(原医研血液内科)
木村 昭郎

中国・四国ブロックの(中核)拠点病院



赤丸は拠点病院，病院名あるのがブロック拠点または中核拠点病院(鳥根，鳥取，徳島県は未定)

広島大学病院の2年ごとの新規患者数



2004年1月～2007年12月の初診患者

- 性別：男49人，女2人
- 国籍：日本47人，外国4人
- 年齢：16～55才
- 居住地：広島県内27人，県外13人，
- 院外からの紹介46人，院内での発見が5人
- 感染経路：異性間男性6人，異性間女性2人，同性間男性41人，血友病2人(転居とセカンドオピニオン)
- エイズ発症：15人。内訳 PCP12人，ML3人，HIV脳症1人，CMV2人，カンジダ1人(*免疫再構築症候群は除く)
- 半年以内の感染：7人，献血：8人
- 転帰：入院25人，転出8人，

包括的ケアの提供

1. 広大病院のHIV感染症診療

- ・外来カンファレンス(2週に1回): 医師、看護師、薬剤師、心理士、MSW
- ・肝疾患専門医との合同カンファレンス(2ヶ月に1回)
- ・心理士とMSWの合同カンファレンス(毎週)
- ・迅速検査の導入

2. ブロック拠点病院連絡会議(2ヶ月に1回, 一部公開)

- ・広大病院、広島市民病院、県立広島病院の3病院及び県保健対策室
- ・連絡会議(医師、看護師、薬剤師、心理士、MSW、県職員)
報告事項、協議事項、行事計画、文献紹介、症例検討など

研 修 会

- ・医療体制構築のための連携会議()
- ・拠点病院の医師研修会(11月2日)
- ・拠点病院の薬剤師研修会2回(7月5～6日、1月)
- ・拠点病院の看護師研修会
 初心者向け(8月6～7日、9月10～11日)
 アドバンスト(12月)
- ・拠点病院のMSWネットワークミーティング(10月)

第2回中国四国地区エイズ診療拠点 病院医師のための研修会

対象者:中国四国地方のエイズ診療拠点病院に勤務する医師

開催日:平成20年11月2日(日)

研修場所:広島大学病院入院棟カンファレンスルーム2

- ・講演「我が国におけるエイズ医療体制の変遷と現状」(広島大学 高田 昇)
- ・講演「HIV感染症の基礎知識、最新の治療」(国際医療センター 照屋 勝治)
- ・講演「日和見疾患の診断と治療のポイント」(都立駒込病院 今村 顕史)
- ・症例検討
- ・講義 + ロールプレイ「検査の勧め方と告知の仕方」(広島大学 藤井 輝久)

(中核) 拠点病院内におけるHIV診療(医師)の課題

現 状

- ・少数の医師が少数の患者を診療
- ・他の多くの仕事を抱えている
- ・使命感をもって診療しているが孤立
- ・スタッフ、予算面での評価が低い

対 策

- ・中核拠点病院にて診療報酬加算
- ・予算の増額
- ・専門診療科の設立
- ・専任スタッフの増員

薬剤師のための抗HIV薬服薬指導研修会

対象: 中四国ブロックの拠点病院に勤務する薬剤師

形式: 講義と体験学習による研修会(1泊2日)

講師・スタッフ: 臨床心理士・医師・薬剤師・MSW・感染者



平成20年度(第21回) 薬剤師のための抗HIV薬服薬指導研修会

7月5日(土)

講義:HIV感染症の治療(長崎大 安岡先生)

:ソーシャルワークの最近の話題(兵庫医大 伊賀先生)

症例検討(横浜市立病院 五十嵐先生)

HIV感染症の患者さんの話

演習:「ロールプレイによる服薬指導の体験的学習(1)」

(広島大心理 児玉先生他)

7月6日(日)

演習:「ロールプレイによる服薬指導の体験的学習(2)」

(広島大心理 内野先生他)

拠点病院の薬剤師研修会10年間のまとめ

開催:10年で20回開催

参加者:毎回30人程度 累計406人 のべ593回

全拠点病院が1人以上派遣

中四国地区以外より のべ30人

2回以上の参加 95人

患者数の多い県が参加者が多い傾向

運営スタッフ:毎回約10名

広大病院、広島市民病院、県立広島病院、

広島大、県立広島大、その他講師

考察:抗HIV療法に詳しい薬剤師が育成された

薬剤師が加わるHIV診療チームが形成された

薬剤師のネットワークが形成された

第3回看護師のためのエイズ診療従事者研修 (アドバンストコース)

対 象: 第1回から第12回の「看護師のためのエイズ診療従事者研修」に参加したことのある看護師 9名

場 所: 広島大学病院

12月15日(土)

- ・「エイズと免疫再構築症候群の治療」(医師)
- ・「外国人の療養支援」(医師)
- ・「中四国地方の患者支援団体」(リサーチレジデント 情報担当)
- ・「看護に役立つ行動変容理論」(看護師)
- ・「実践に生かすコミュニケーションスキル」
(リサーチレジデントカウンセラー)

12月16日(日)

- ・「エイズ患者への看護」(看護師)
- ・事例検討
- ・ディスカッション「研修を実施に活かすには」

第3回HIV/AIDSソーシャルワーカーネットワーク会議

日 時:平成20年2月9日～10日

会 場:県立広島大学 三原キャンパス

参加者:7名(広島 3、山口 3、徳島 1)

会 議:「国連障害者権利条約への批准とHIV陽性者支援の現状」(広大病院 船附祥子 他)

「中四国ブロックのHIV陽性者支援団体について」
(広大病院 佐藤文香 他)

講 義:「対人支援におけるコミュニケーション理論の概要」
(県立広島大学 大下由美)

演 習:「ロールプレイによる援助技術の体験的学習」
(県立広島大学 大下由美 他)

考 察:今後の会議の議題として具体的事例についての
希望

情報提供

- 1.ウェブ「中四国エイズセンター」 10年, 46万ヒット
<http://www.aids-chushi.or.jp>
- 2.メーリングリスト「J-AIDS」 会員1,050人, 11,200件
<http://groups.yahoo.co.jp/group/jaids/>
- 3.中四国HIVカウンセラーネットワーク
- 4.中四国HIV看護師ネットワーク
- 5.中四国HIVソーシャルワーカーネットワーク
- 6.出版物